

Forest Good2019 間伐・間伐材利用コンクール

継続的取組部門 **林野庁長官賞**

株式会社 イーエムシー

取組等の名称	多目的木製枠体「ティーキューブ」	
活動の種類	○	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
		間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容 （概略）	平成14年度間伐材を使用した多目的枠体「ティーキューブ」の将来性を期待され受賞に至り、22年度受賞は平成13年度270基納入実績から平成21年度2400基納入の実績・間伐材利用促進の活動等により受賞。現在平成30年度末実績は28,400基の実績である。	
受賞後の展開 （受賞から現在まで）	平成14年度受賞を機に本格的に間伐材利用拡大のため新製品の開発に着手する。 ・平成16年度木製ガードレール「ログガード」の開発、国の衝突実験をクリアし全国各県の県産間伐材を使用した製品を全国23都府県で販売。総延長35,000mの実績を達成。 ・平成22年木製残存型枠「ウッドホーム」の販売開始。総面積47,600㎡を達成。	
今後の展開 （現在から未来へ）	平成13年会社設立以来進めてきた間伐材を使用した新たな製品開発及び間伐材利用の啓蒙活動。 ・現在も新商品2製品（間伐材丸太安全防护柵P種・EMC木工沈床ユニット工法）について間伐材利用推奨・啓蒙活動のためNETIS登録申請中である。	
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的木製枠体「ティーキューブ」施工実績311箇所、28,400基 ・木製ガードレール「ログガード」23都府県施工実績370箇所、35,000m ・木製残存型枠「ウッドホーム」施工実績225箇所、47,600㎡ 	
その他	公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行後は、建築分野での木材利用は確実に進展し喜ばしいことである。今後は土木分野でも木材利用の発展を期待したい。また、そのための新しい技術や製品を考案していかなければならない。	
取組、製品等の 写真、図表等	<p>受賞後の取り組み製品の参考写真 「木製ガードレール（ログガード）・木製残存型枠（ウッドホーム）」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
連絡先等	<p>(住所) 〒380-0035 長野県長野市北条町3-14 (担当部署等) 代表取締役 戸津勝彦 (電話番号等) TEL: 026-256-9170 FAX: 026-256-9171 (URL) http://www.emc-materials.com</p>	